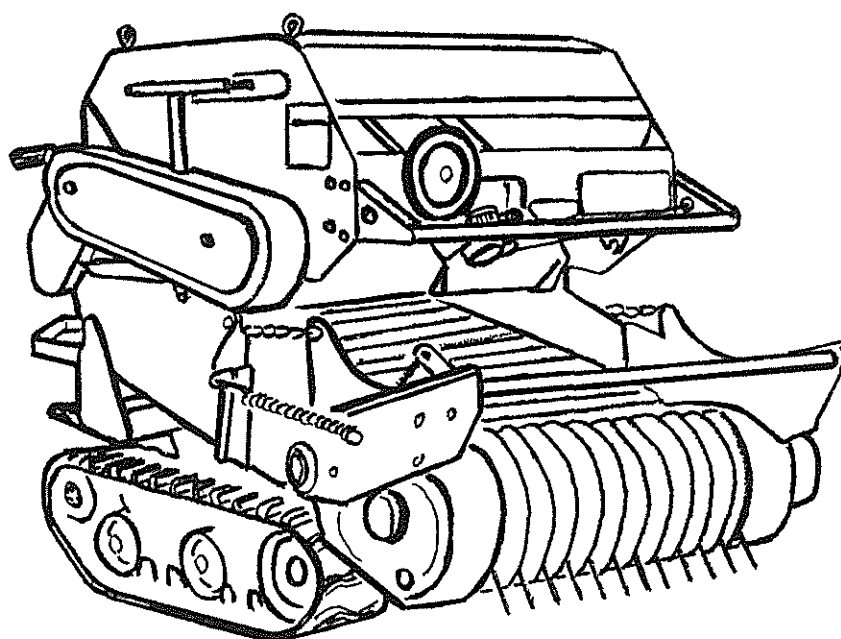


取扱説明書及び部品表

Takakita

自走小型ローバレータ

SE-511



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。

お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**自走小型ロールペーラ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも**必ず製品に近接して保存**してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- | | |
|------|--|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。 |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。 |

目 次

 安全に作業するために	1
本製品の使用目的とサービスについて	8
各部の名称とはたらき	9
運転に必要な装着の取扱い	10
1. シフトレバー	10
2. スロットルレバー	10
3. 駐車ブレーキ	10
4. サイドクラッチレバー	10
5. 走行クラッチレバー	10
6. 作業クラッチレバー	11
7. ピック昇降レバー	11
8. チャンバー開放レバー	11
9. トワインの取付けのしかた	11
10. トワイン巻き付けピッチ調整のしかた	12
11. トワイン案内金具の位置確認	12
12. 梱包圧感知装置の取扱い	12
13. トワイン繰り出し装置	12
14. 安全装置の取扱い	13
15. ブザー	13
作 業 方 法	14
1. 作業手順と要点	14
2. ピックアップドラムの高さ調整	15
3. 牧草の拾い上げ方法	15
4. 切断ワラと長ワラの拾い上げ方法	15
5. 梱包作業方法のまとめ	16
6. 傾斜地での作業	16
作業前の点検について	17
1. 点検一覧表	17
簡単な手入れと処置	18
1. エンジンの点検・調整	18
2. エンジンのエアクリーナー	18
3. ミッションオイルの点検	18
4. クローラの張り調整	18
5. 走行クラッチ・作業クラッチの調整	19
6. 左右のサイドクラッチレバー	19
7. ベルト押え	20
8. ローラチェーンの張り調整	20
9. トワイン結束装置の調整	20
10. 各部への注油・グリスアップ	20
11. トワイン切断ナイフの交換	21
12. 長期格納時の手入れ	21
不 調 診 断	22
付 表	24
1. 主要諸元	24
2. 主な消耗部品	24

⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

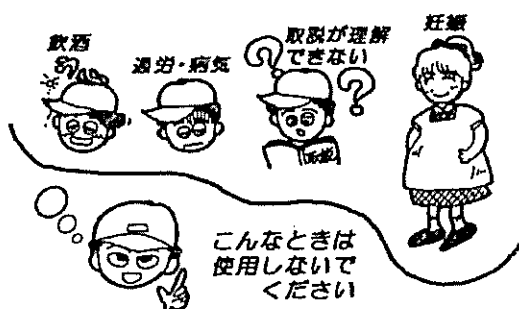
機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

1. 本機を使用するにあたって

(1) 使用する人の条件

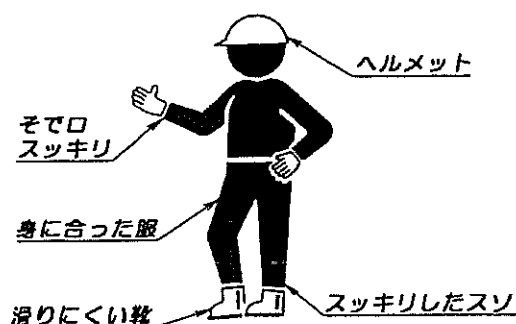
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



(2) 使用する人の服装

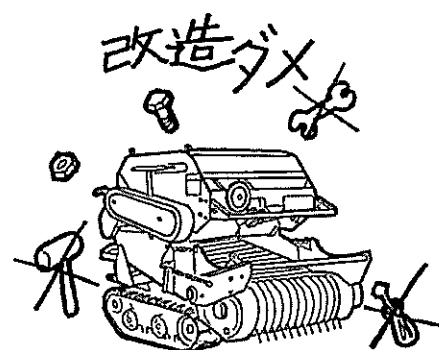
機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



(3) 機械の改造厳禁

純正部品や指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



(4) 使用目的以外への使用禁止

稲ワラ・麦稈・牧草をロール上に梱包する事を目的として作られた機械です。他の目的には使用しないでください。

(5) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



⚠ 安全に作業するために

2 点検・整備をしてください

(1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



(2) 作業前の点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき

点検・整備・修理・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり、動いたりしない平坦で安定した場所で、エンジンを止め、駐車ブレーキまたは車止めをしてから行ってください。



(4) 点検・整備は加熱部分が冷めてから

マフラやエンジンなどの加熱部分が十分に冷めてから点検・整備をしてください。守らないと火傷する恐れがあります。

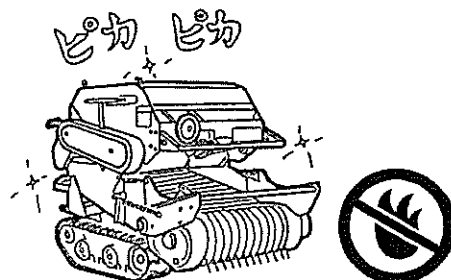
(5) ナイフに注意すること

ナイフ類は、絶対に素手で触れないでください。必ず手袋などの保護具を着用してください。



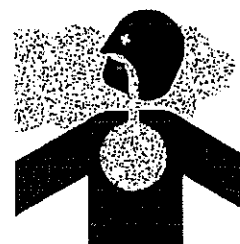
(6) 機械を常にきれいに

エンジン・マフラ・ベルトカバー・バッテリーなどに枯草、芝草がたまっていると、おもわぬ火災の原因となることがあります。機械を常にきれいにしてください。



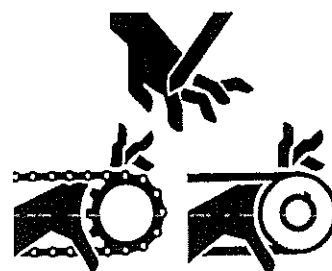
(7) 排気ガスには十分注意

屋内などでエンジンを始動するときはエンジンの排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所で行い、やむをえず屋内で始動する場合には、十分換気を行ってください。



(8) カバー類を必ず取付ける

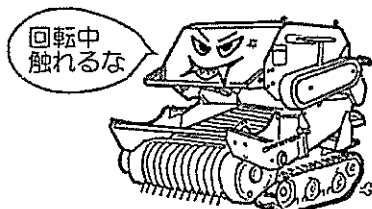
カバー類などの防護装置を取外す場合は、必ずPTOを切り、エンジンを止めてから行ってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。守らないと、傷害事故を引き起こす恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

(9) 注油・給油するときは

P T Oを切り、エンジンを止め、回転部分が完全に停止してから行ってください。



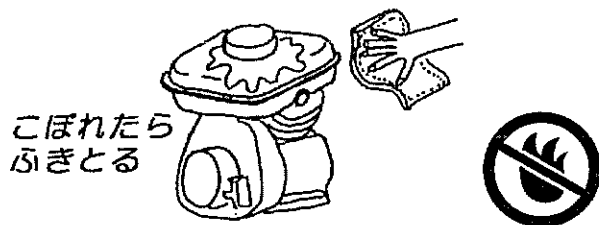
(10) 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草やマッチ・ライターなど裸火照明は絶対に使用しないでください。守らないと燃料に引火し、火災を起こす恐れがあります。



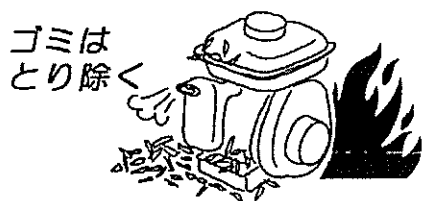
(11) こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料はきれいにふき取ってください。守らないと火災事故を起こす恐れがあります。



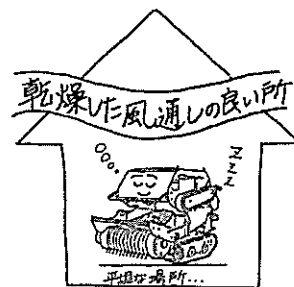
(12) マフラ・エンジンのゴミは取り除く

マフラやエンジン周辺に、ワラクズ・ゴミなどが付着していないか作業前に点検し、付着していれば取り除いてください。守らないと火災事故を起こす恐れがあります。



(13) 長期格納するときは

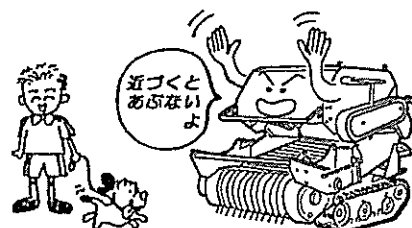
機械を清掃し、回転部及びチェーンには十分注油して、屋内の平坦な場所に保管してください。



3. 作業・移動をするときは

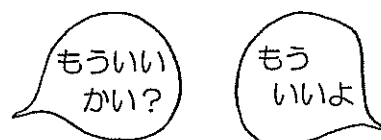
(1) 人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。



(2) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。



(3) エンジンを始動するときは

作業クラッチおよび走行クラッチを切り、変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確かめてからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。



⚠ 安全に作業するために

(4) 急な発進・停止・旋回・スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起伏の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは極力落として作業を行ってください。

(5) 傾斜地で作業するときは

次のことを必ず守ってください。

- ①等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。

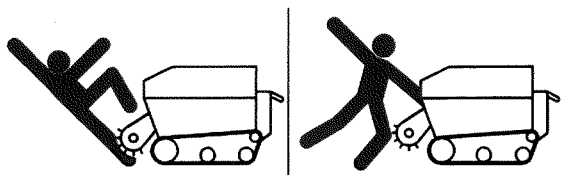
斜面の作業は、必ず等高線に対して直角方向に走行してください。

- ②傾斜地で旋回するときは、速度を落とし、急ハンドルを切らないでください。守らないと、転倒する危険があります。

- ③傾斜地でのバール放出は、谷側にバールが転動して危険です。必ず平坦地まで移動して、安全な場所に放出してください。

(6) 回転中のピックアップドラムやタイトバーには触れない

回転しているピックアップドラムやタイトバーに、手や足で絶対に触れないでください。巻き込まれ重傷を負うことがあります。



(7) 移動及び旋回するときは

旋回時に片方のクローラをあせぎわに乗り上げたり、急旋回は絶対に行わないでください。転倒や脱輪の恐れがあり危険です。

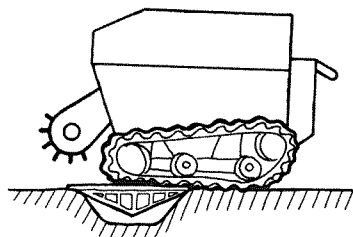
(8) シェアボルトの交換や巻き付き草などを取り除くときは

エンジンを必ず止め、回転部が完全に停止してから行ってください。



(9) 溝や畦を横断したり軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。



(10) 作業途中で運転席より離れるときは

平坦な場所に停車し、エンジンを止め走行クラッチを切り、駐車ブレーキを掛けてください。

(11) 後進して作業するときは

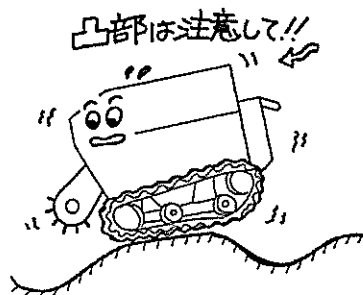
後方に障害物のないことを十分確認し、本機と障害物の間に人や動物を挟まないようにしてください。



⚠ 安全に作業するために

(12) あぜの乗り越えは

畦畔を越えるときは、機体が上向きから下向きに急に変わるので十分に注意し、最低速度で畦畔に直角に越えるようにしてください。あぜがコンクリートであったり、高さが10cm以上のときはアユミ板を使ってください。



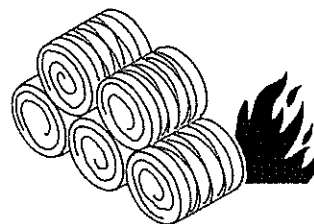
(13) 高温油に注意してください

- ①高温油による傷害を防止するために作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か十分温度が冷えてから行ってください。
- ②火傷やケガを負った場合は、速やかに医者の診療を受けてください。



(14) 乾草火災に注意

乾燥不十分な牧草をロールベールに成形すると、ロールベール内部からの発火により火災が発生する危険があります。ロールベール成形後2～3日間は、風通しの良い屋外に仮置きした後、屋内に収納してください。



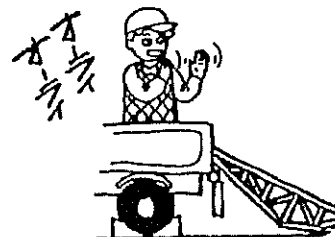
4. 道路走行・輸送するときは

(1) 公道走行はできません

本機は公道を走行すると道路運送車両法に違反します。公道を移動するときは、トラックなどで運送してください。

(2) トラックなどへ積込み・積降ろしは

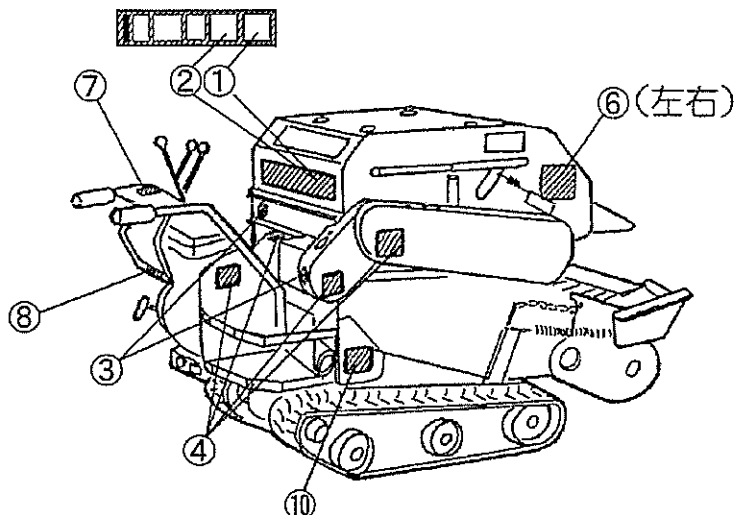
平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを止め、サイドブレーキをかけ、車止めをし、幅・長さ・強度が十分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度でクラッチを使わずに行ってください。積込んだ機械は車止めをし、強度が十分にあるロープで確実に固定してください。



以上、機械の取扱いで注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

⚠ 安全に作業するために

5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001204500042

001204500042

⚠ 注意

1. 取扱いを誤ると事故や故障の原因となりますので、必ず取扱説明書を熟知するまでお読みください。 2. 全部のラベルが所定部分に貼付けられているようにしてください。 3. エンジン始動前に機体の周りに人がいないことを確認してください。 4. 作業中は人や動物を近づけないでください。 5. 運転席を離れるときは、必ず	エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。 6. 斜面での駐車時は歯止めをしてください。 7. 点検・調整等はエンジンを止めて実施してください。 8. 手、足及び衣服を運動部分に近づけないようにしてください。 9. 公道走行はできません。トラック等で運送してください。
---	--

②部品コード 001206001380

001206001380

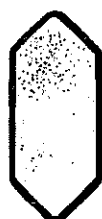
⚠ 危険

メンテナンス不良や無理な作業は火災の原因になります。始動前・作業中は下記の事を行ってください。

1. 給油は必ずタンクの油面上部赤付（赤線）マーク以下にしてください。万一、多く入れた場合は、マーク以下になるまで抜き取り、又、周囲に流出させた燃料は必ずふき取ってください。
2. マフラー・エンジン周りのワラ、枯草、ゴミ、ほこり等の増殖除去。
3. 燃料ホースの劣化による亀裂の点検。
4. エンジン稼働中の燃料漏れ禁止。
5. ショートによる火災防止のため、配線の点検。
6. 傾斜移動時の燃料タンク・キャブレターからの燃料漏れ点検。

燃料タンクの油面上部赤付（赤線）マーク

③部品コード 001206000530



④部品コード 001206000561

001206000561

⚠ 注意

・鋭利な刃物のため、点検・取換え時は十分注意してください。

・注意を怠ると傷害発生の可能性があります。

⑤部品コード 001206000540

001206000540

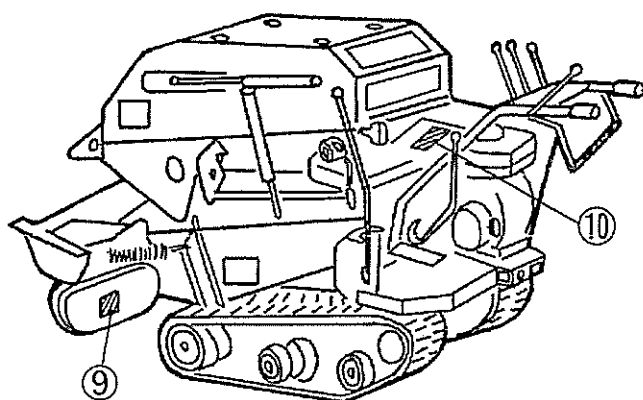
⚠ 危険

・作業中ワラ・牧草等を手や足で入れないでください。

・回転中のピックアップドラムやトワイン排出部に触れると、手や足が引き込まれ、障害を受ける恐れがあります。

・作業クランチを切り、エンジンを停止させ、完全に回転が止まるまでは触れないでください。

⚠ 安全に作業するために



⑥部品コード 001206000550



⑦部品コード 001206000440

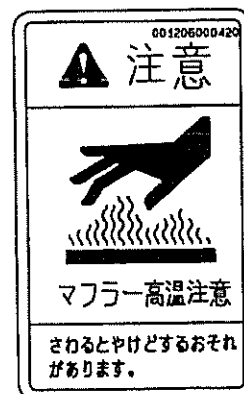
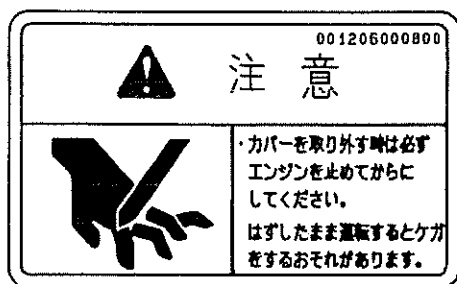


⑧部品コード 001206000130



⑩部品コード 001206000420

⑨部品コード 001206000800



警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにし傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

本製品の使用目的とサービスについて

本製品の使用目的について

本製品は、稲ワラ・牧草・麦稈・牧草をロール状に梱包する作業にご使用ください。

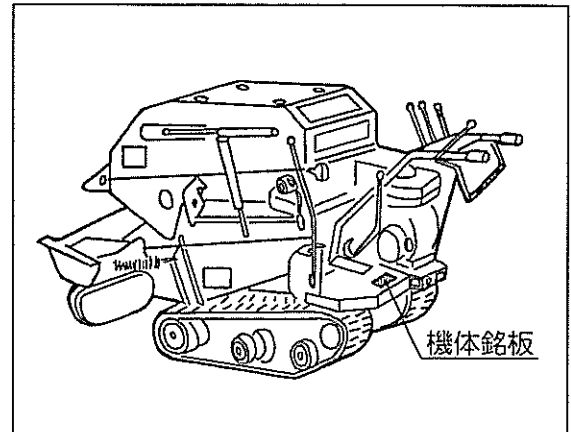
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

(機体銘板貼付け位置図)

アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って点検・処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、または、お近くの当社営業所までご連絡ください。



【連絡していただきたい内容】

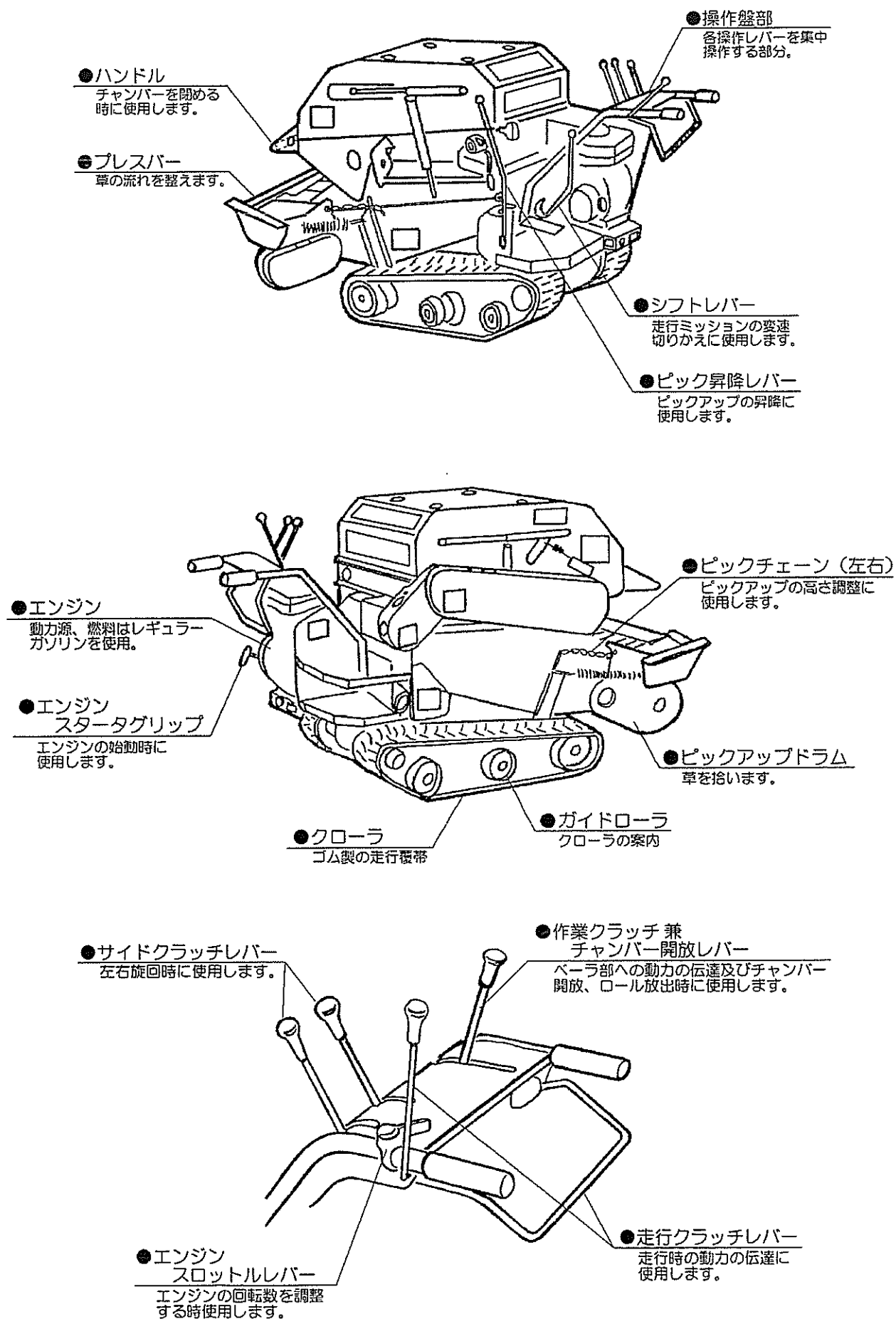
- 品名と型式
- 機体 No. (SER-No.)
- ご使用状況は？ (どんな条件でどんな作業をしていたときに)
- どれくらい使用されましたか？
(約〇〇アール、または約〇〇時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

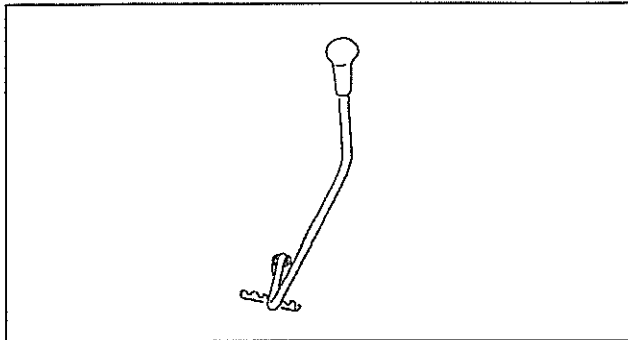
品 名	自走小型ロールベアラ
型 式	SE-511
機体 No. (SER-No.)	
購入年月日	
販売店名	TEL : ()

各部の名称とはたらき



運転に必要な装置の取扱い

1. シフトレバー



作業時には1速、移動時は2速にしてください。

<速度表> (km/h)

変 速	F 1	F 2	R
速 度	1. 4	2. 8	1. 4

注意

変速の際は、必ず走行クラッチレバーを「ブレーキ入」にしてから行ってください。

警告

エンジン始動時は、突然に動き出さないよう、変速レバーをニュートラル（中立）にするとともに作業クラッチレバーを必ず「切」にしておいてください。

2. スロットルレバー

操作盤部左側にあります。

レバーを下げるとエンジン回転速度が高くなり、上げると回転速度は低くなります。

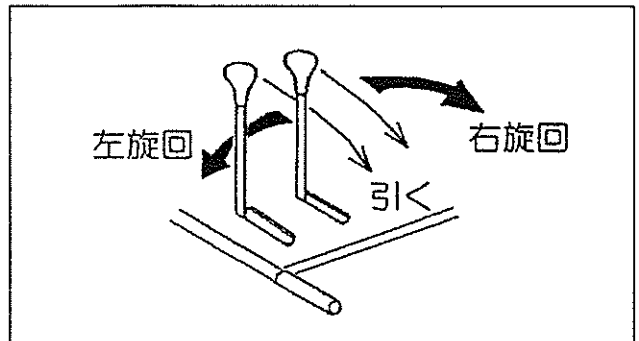
3. 駐車ブレーキ

走行クラッチレバーを「切」にすると、駐車ブレーキがかかります。

注意

本機から離れる時には、必ず走行クラッチレバーを「切」にしておいてください。

4. サイドクラッチレバー

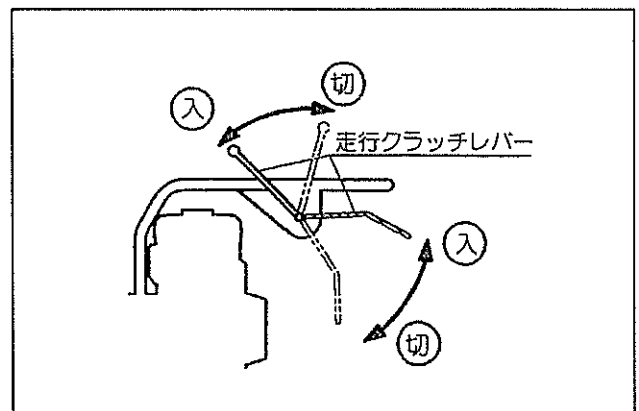


左に旋回したい時は、左のサイドクラッチレバーを手前に引いてください。
右に旋回したい時は、右のサイドクラッチレバーを手前に引いてください。

警告

- 高速走行時、サイドクラッチレバーを強く引くと急旋回して危険ですので注意してください。
- 砂利道での急旋回は、クローラに石がからみ込む恐れがあるのでさけてください。

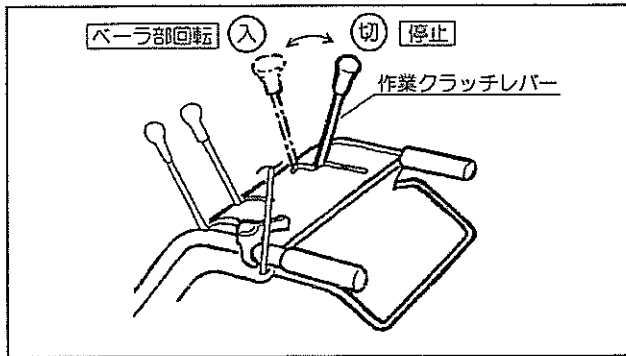
5. 走行クラッチレバー



上図のように走行クラッチレバーを前方に倒し、「入」の状態にすると走行することができます。

運転に必要な装置の取扱い

6. 作業クラッチレバー



上図のように作業クラッチレバーを前方へ倒し、「入」の状態にすると作業クラッチがつながり、ベアラ部が回転します。

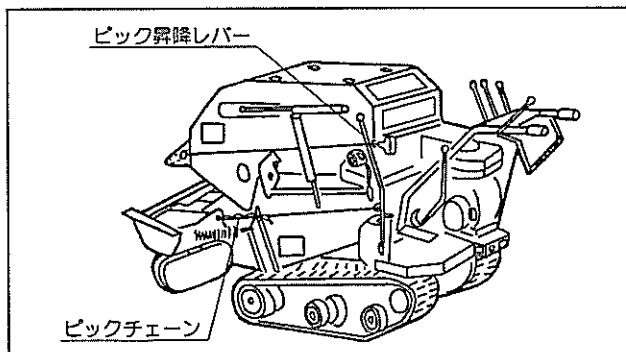
注意

- アイドリング状態で作業クラッチを「入」にするとエンジンがストップする場合があります。
- エンジンの回転速度を十分上げてから作業クラッチをゆっくりつないでください。

警告

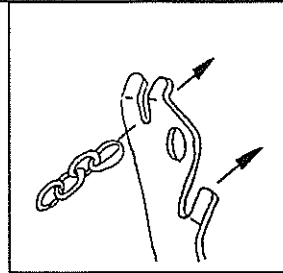
エンジン始動時は突然に動き出さないよう、この作業クラッチを必ず切っておいてください。

7. ピック昇降レバー



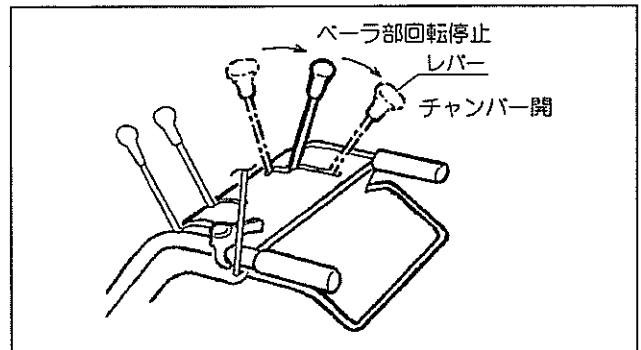
旋回時はピックアップの損傷を防ぐため、ピック昇降レバーでピックアップを上げてください。

作業時はピックチェーンのリンク数を変えることで、高さ調節をしてください。



差し込む溝位置を変える事でチェーン半コマ分の高さを調節する事ができます。

8. チャンバー開放バー



- ①レバーを引くとチャンバーが開き、タイトバーの動きが止まります。
- ②ロールを手で取り出します。
- ③チャンバーを手で閉じます。
(ケース両側に草がたまっていたら取除き確実に閉めてください。)

注意

ロールが出にくい時は、レバーを矢印と逆方向へ動かしてベアラ部を回転させるとロールは前へ出やすくなります。

9. トワインの取付けのしかた

◆トワインボックスにセット

次頁図のようにトワインボックスにセットしてください。

◆アイボルト・ガイド・テンショナー

次頁図の示すようにアイボルト、ガイドを経由し、トワインテンショナーに通してください。

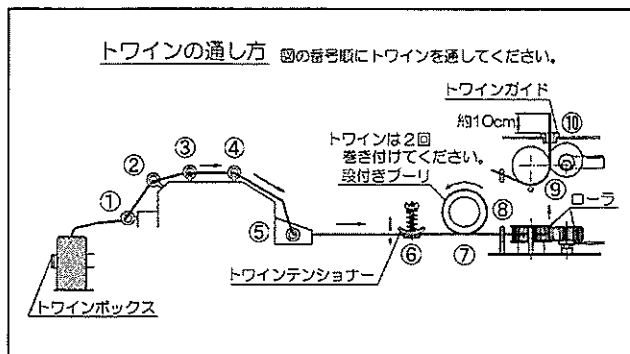
◆段付きプーリーに巻き付け

続いて、トワインテンショナーより出たトワインを段付きプーリーに反時計方向に1～2回、巻付けてください。

運転に必要な装置の取扱い

◆トワイン繰り出しローラに通します

段付きプーリー巻き付け後、アイボルトに通し、ローラの間から出たトワインがガイドより約10cm程度出るようにセットしてください。



10. トワイン巻き付けピッチ調整のしかた

成形したロール外周に巻き付けるピッチの調整は、段付きプーリーの径によって行います。

段付きプーリー	大	小
巻き付けピッチ (mm)	(狭い) 111	(広い) 152
成形する草の長さ	短い草	長い草

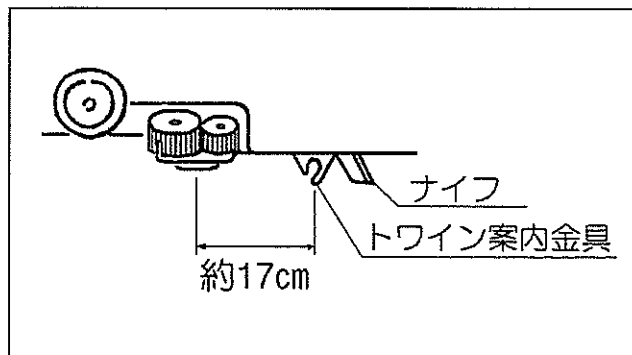
11. トワイン案内金具の位置確認

◆トワイン案内金具スタート位置合わせ

作業前に下図のようにトワイン案内金具が、トワイン繰り出し位置より右側へ約17cmのところへくるよう、調整してください。

注意

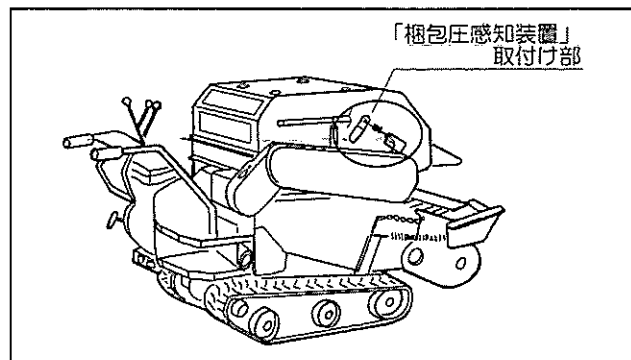
位置合わせをしないとトワインの無駄巻きと巻き付け時間が長くなります。



12. 梱包圧感知装置の取扱い

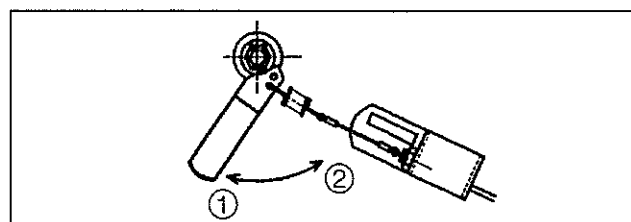
◆梱包圧感知装置の装備位置

下図に示すように進行方向右側に装備しています。



◆梱包圧感知装置の作用

梱包圧力を感知する装置で、圧力感知と同時にブザーを鳴らせます。

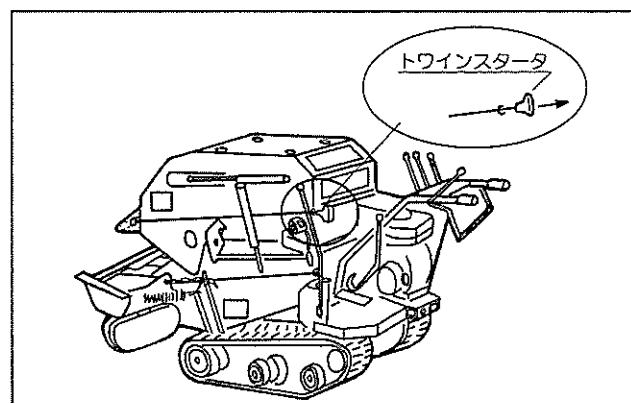


標準固さはエンジンをかけ、レバーを①方向へ動かしてブザーが鳴った位置より1コマ右(②方向)へ戻します。固くするには、レバーをさらに右側へ1コマずつ回転させます。

13. トワイン繰り出し装置

◆トワイン繰り出し装置の作用

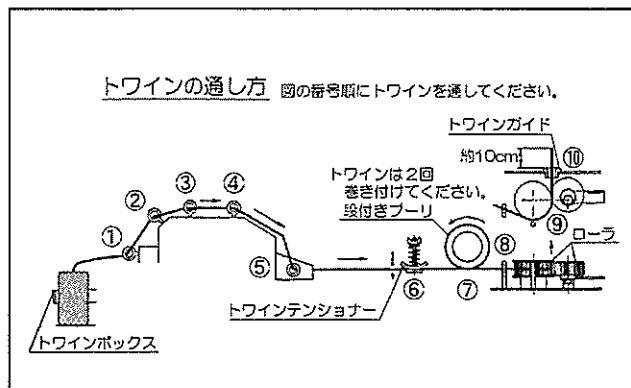
設定した圧力を梱包圧感知装置で感知されるとブザーが鳴りますので、トワインスタータを1～2回引いてトワインを繰り出してください。



運転に必要な装置の取扱い

◆トウィン押えの圧力調整

使用するひも（PP、サイザル、ジュート）により、トウィンテンショナー⑤及びローラ⑧の加圧力を変えてください。



●ローラ部の調整

調整ボルトによりトウィンの加圧力調整を行います。 「何とかトウィンを引き出せる程度の加圧」とし、決して強い目の加圧にはしないでください。

（トウィンが引き出せれば、ゆる目の加圧ほど良い）

ローラの加圧を強くすると、ひも（特にジュート）の切断等の原因となります。

●トウィンテンショナー部

いずれのひもの場合も段付きプーリでスリップしない程度の加圧とし、強い目の加圧にはしないでください。

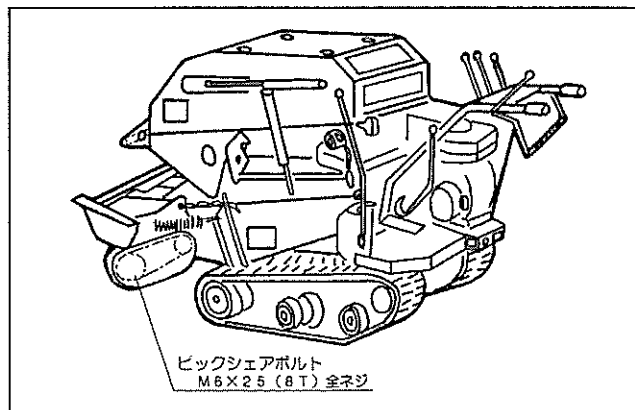
この加圧を強くすると、ローラの加圧も上げる必要が生じるため、ひもの切断あるいはトウィンスタターから繰り出さない等の原因となります。

14. 安全装置の取扱い

◆シェアボルト（1ヶ所）

本機には、安全装置としてピックアップ部にシェアボルトがあります。

切損した場合、必ずエンジンを停止してから交換してください。使用するボルトはM6×25（8T）全ネジです。それ以外のボルトを使用すると、故障の原因となりますので絶対にやめてください。



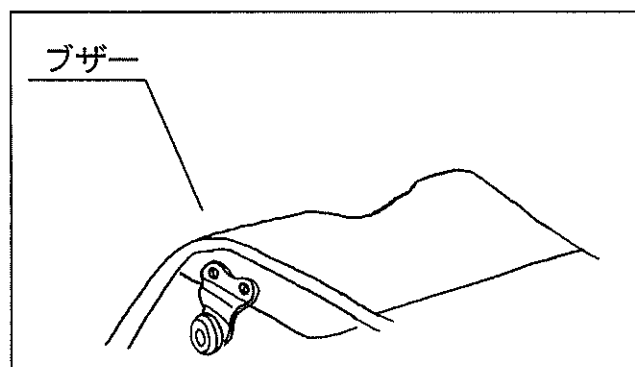
◆シェアボルトがよく切損する場合

凹凸の多いほ場では、ピックアップを上げてタイヤが地面と接触しないようにしてください。

15. ブザー

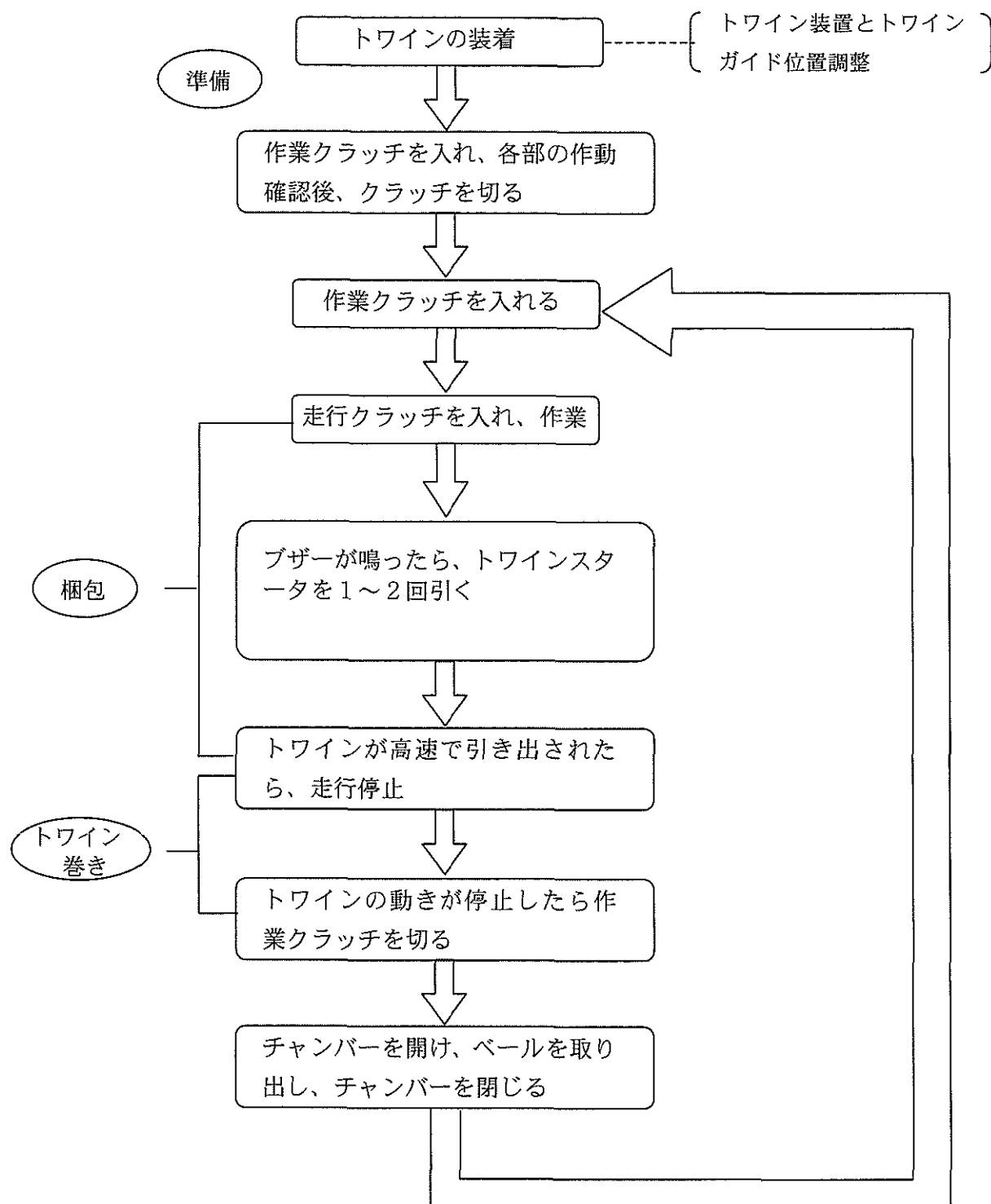
◆感知した時オペレータに知らせます。

・ブザー



作業方法

1. 作業手順と要点

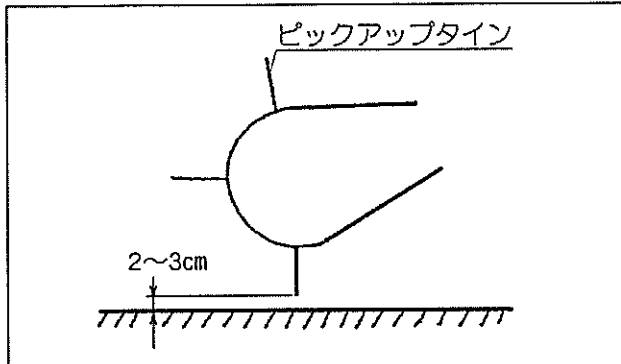


作業方法

2. ピックアップドラム

◆拾い上げ高さ調整

ピックアップドラムの拾い上げ高さはピックアップタインが地上から約2～3cmが基準ですが、ほ場の状態に合わせてピックチェーンで調整してください。



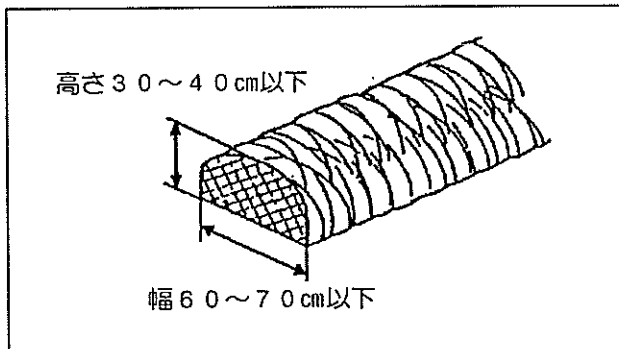
3. 牧草の拾い上げ方法

◆ウインドローを作ってください

牧草の拾い上げ梱包には、必ずウインドローを作ってください。

◆ウインドローの大きさ

ウインドローの大きさは、下図に示す大きさでできるだけ均一なウインドローとしてください。



注意

ウインドローが大きすぎると詰まりの原因となり能率的な梱包作業ができません。上図の寸法を守ったウインドローを作ってから作業してください。

4. 切断ワラと長ワラの拾い上げ方法

◆切断ワラを拾うときはウインドローを作ってください

牧草の拾い上げ梱包と同様に、ウインドローを作って作業すると、能率が上がり、拾い残しロスも少なくなります。

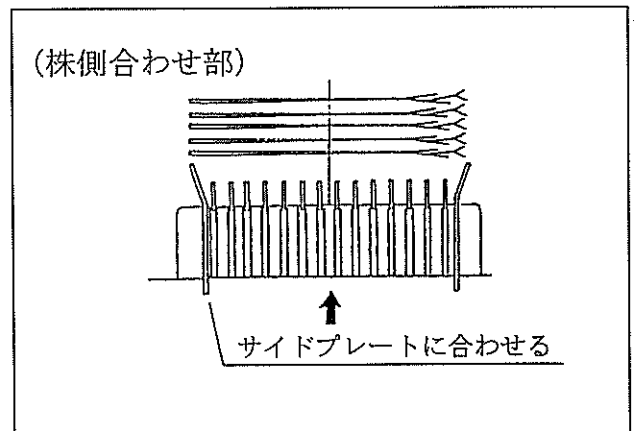
この場合、6～8条分を集めてウインドローを作ってください。

(ウインドローの大きさ及び梱包作業は、前項を参考にしてください。)

◆長ワラを拾うときは

(3・4条刈コンバインの長ワラたれ流しのときは)

長ワラの株側をサイドプレートに合わせて走行してください。



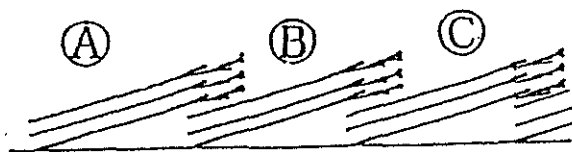
注意

ワラ中央部に合わせたり、穂先をサイドプレートに合わせると、形の悪いロールになり、放出するのに時間がかかるためとワインのゆるみの原因となります。

作業方法

- ◆2条刈のコンバインの長ワラたれ流しのときは
刈取り後のワラは重なった状態となっています。下図のA・B・Cの順序で拾い上げてください。

サイドプレートに株側を合わせてAの列のみを拾い上げてください。(上側を拾う)



注意

A・Bを同時に拾い上げると、詰まりの原因となります。

また、ワラの長さが80cm以上のときはAとBの重なりが多くなるため、Bのワラを引きずり込みます。これが原因で詰まりが発生しますので、この場合にはウインドローを作ってから拾い上げてください。

5. 梱包作業方法のまとめ

- ◆対象作物の種類、量に合わせて作業速度を選定
通常は、1速で作業を行ってください。
(ワラの量が少ない場合は2速で作業できます。)
長ワラや水分の多い牧草を拾い上げる時は、通常より速度を下げた作業してください。
- ◆設定圧になるとブザーが鳴り、トワインスタータを1～2回引いて、トワインを繰り出します。
ブザーが鳴ったら速度を下げた走行してください。

注意

繰り出しされるトワインは、拾い上げた作物と共にチャンバー内に送り込まれるようにしてください。走行を停止したり、拾い上げ作物がない状態で繰り出すと、チャンバー内に送り込まれず結束ができないばかりか、ピックアップドラムに巻き付くトラブルの原因となります。

- ◆トワインの動く速度が速くなったら走行停止

繰り出したトワインがチャンバー内のロールに巻かれると、トワインの動く速度が速くなりますので走行を停止して結束が完了するのを待ってください。

- ◆結束完了

設定の巻き付けピッチによるトワイン結束が終わると、トワインが停止し、結束が完了したことを知らせます。

- ◆チャンバーを開けてロール放出

チャンバー開放レバーを引いてロールを放出します。

6. 傾斜地での作業

本機が傾くと放出が不安定になります。なるべく水平なところを選んでロール放出を行ってください。

簡単な手入れと処置

1. エンジンの点検・調整

※エンジンについては別冊の「エンジン取扱説明書」を必ずお読みいただき、日常の点検・整備には万全の注意をお願いします。

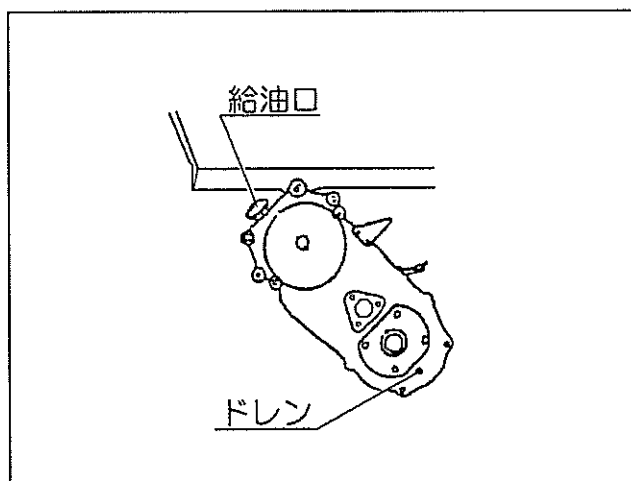
2. エンジンのエアクリーナ

本機に使用しているエンジンのエアクリーナはすべてホコリ対策のため、オイルバス式のエアクリーナを採用しております。

始業前にオイルが入っているか、確認をしてください。不足していれば補充し、またオイルがゴミやホコリなどで汚れている場合は、新しいオイルに交換してください。

(オイル：エンジンオイルと同等品)

3. ミッションオイルの点検



走行ミッションのオイル交換は、初回は30時間後、2回目以降は年1回シーズン始めに交換してください。

- オイル：ギヤオイル#90
- 油 量：1リットル

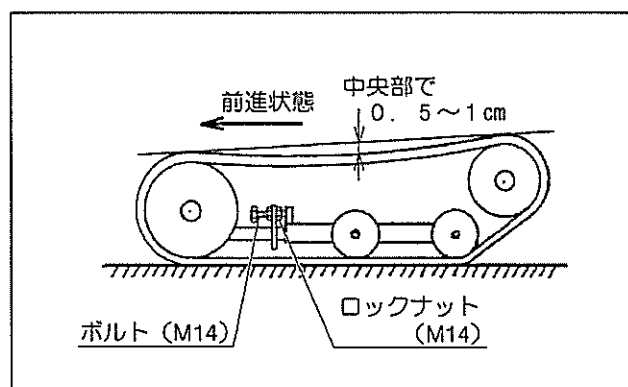
4. クローラの張り調整

クローラは使用している間に伸びと摩耗により、たわみが大きくなります。定期的にたわみ量を確認し、調整してください。

※調整方法はロックナットをゆるめ、ボルトを締め込みます。

クローラの張り具合は、本機を前進状態で停止させ、クローラ上に定規を置き、中央でたわみ量が0.5～1cmが適正です。

調整は、必ず左右のクローラを均等に行ってください。

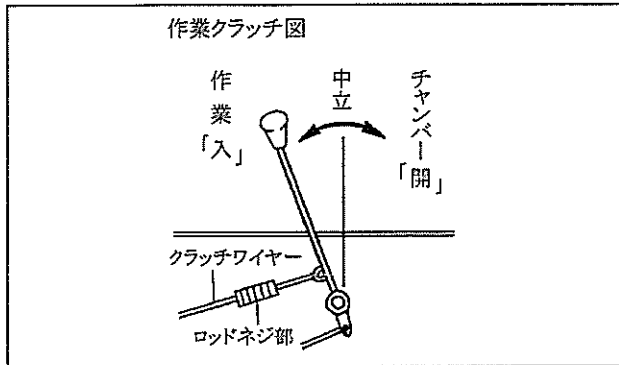


注意

- 調整は平坦地を選び、エンジンを停止してから行ってください。
- 調整後、ロックナットは確実に締め込んでください。
- ボルトのネジ部に調整後、グリスを塗布しておくと錆の発生を防ぎ、以後の調整が容易となります。

簡単な手入れと処置

5. 走行クラッチ・作業クラッチの調整

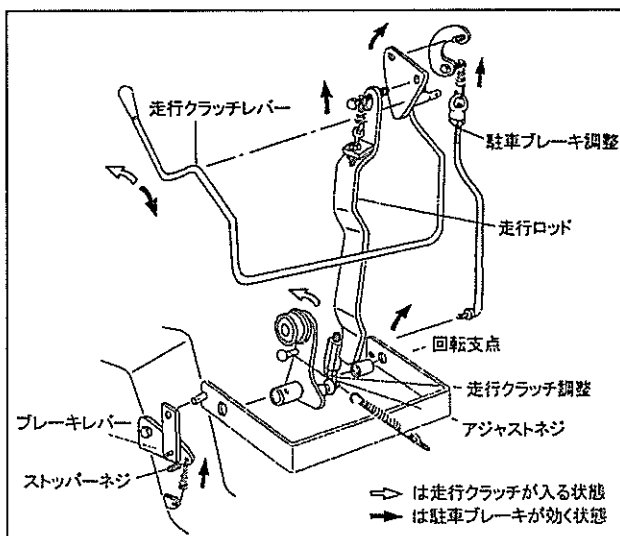


使用している間にクラッチワイヤー及びベルトの伸びにより各部に遊びが発生し、調整が必要となります。

- ① シフトレバーを中立の位置に入れ、エンジンを始動してください。
- ② 走行クラッチレバー、作業クラッチレバーをそれぞれ数回「入」、「切」させてください。
- ③ 「入」の時にVベルトが駆動し、「切」の時にVベルトが停止すれば正常です。
- ④ 「入」の時にVベルトがスリップするようなら、走行ロッドのアジャストネジ部を短くなるようにスパナで調整してください。
- ⑤ 「切」の時にVベルトが停止しない場合は、逆に長くなるようにスパナで調整してください。

注意

走行クラッチの調整を行う場合、駐車ブレーキの確認が必要です。



- 走行クラッチを入れた時、ミッションのブレーキレバーがストッパーネジに当たっている事を確認してください。

(駐車ブレーキ解除)

- 調整しても、各クラッチレバー「入」状態でVベルトがスリップする時は、Vベルトの交換が必要です。

作業前には必ず走行クラッチ、作業クラッチの作動確認を行ってください。

緊急時にクラッチが切れないと、重大な障害が生じる危険があります。

6. 左右のサイドクラッチレバー

(P9・10参照)

使用している間にクラッチワイヤーの伸びや各部に遊びが発生し、調整が必要となります。

- ① シフトレバーを低速の位置に入れ、ごく低速で走行してください。
- ② 左右のサイドクラッチレバーを交互に数回ずつ手前に引き、左右への旋回が問題ないかを確認してください。
- ③ 左右いずれか旋回時のサイドクラッチの切れが悪い場合は、切れが悪い方のサイドクラッチワイヤーを調整してください。
- ④ 調整後、ロックナットはスパナで確実に締め付けてください。

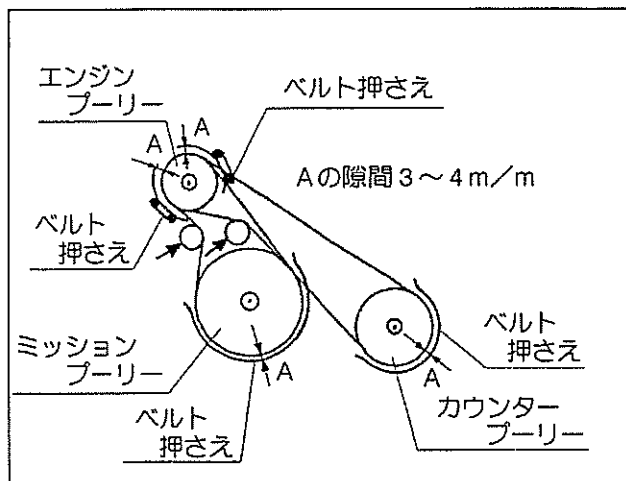
注意

- サイドクラッチワイヤーの調整においては、ワイヤーの調整後、必ずサイドクラッチレバーが「切」の位置で、クラッチ金具に多少の遊びがあることを確認してください。
- クラッチ金具の作動に遊びがないと、走行ミッション内の爪クラッチの損傷の原因となります。

簡単な手入れと処置

7. ベルト押さえ

クラッチを入れた状態の時、ベルト及びプーリーとの隙間は適正か点検してください。



注意

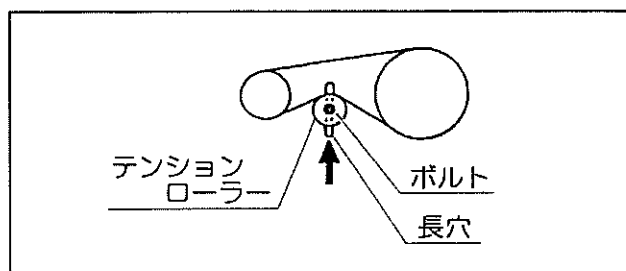
チェーンは特に初期伸びをします。
初めての使用から10時間後に張り調整を行ってください。

警告

- ①チェーンの張り調整や、各部の調整をする時は、必ずエンジンを停止させて回転部が止まってから行ってください。
- ②取外したカバー類は、必ず取付けてください。

8. ローラチェーンの張り調整

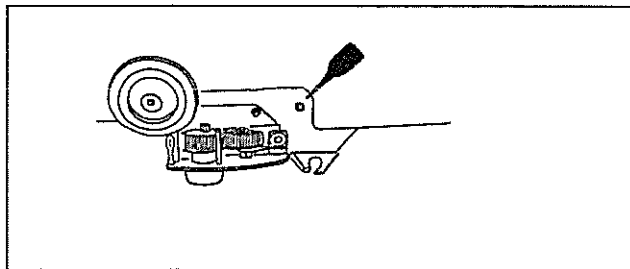
中間チェーン、駆動チェーン、ピックアップチェーンの3ヶ所に張り調整が必要です。
ゆるんだ時は、ボルトをゆるめ、ローラを押し付けてください。



9. トワイン結束装置の調整

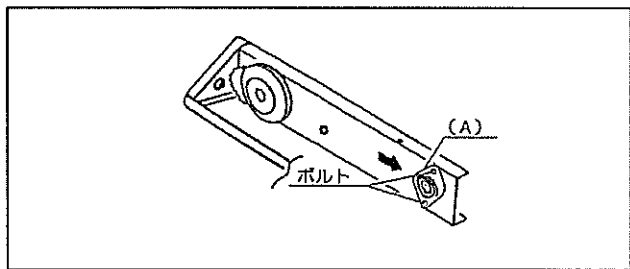
◆トワイン案内金具がスムーズに移動しないとき

- ①チェーンの油切れ
・・・注油する



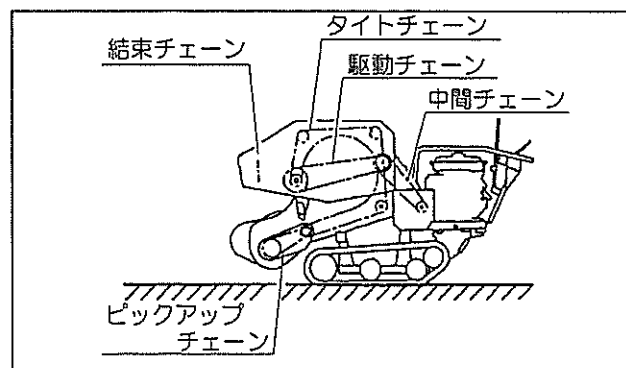
- ②チェーンのゆるみ

・・・まず、ロールベアラ上面のケースカバーを取り外してください。その後、軸受のボルトを少しゆるめて(A)を矢印方向へずらしてください。その後、ナットで固定します。

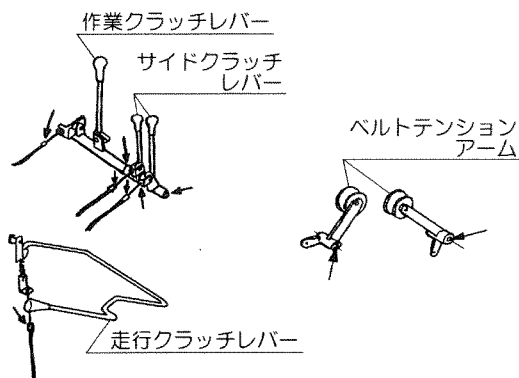
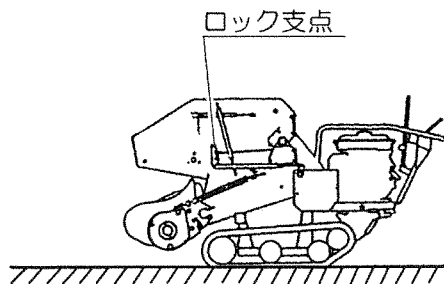


10. 各部への注油・グリスアップ

◆各部の注油箇所



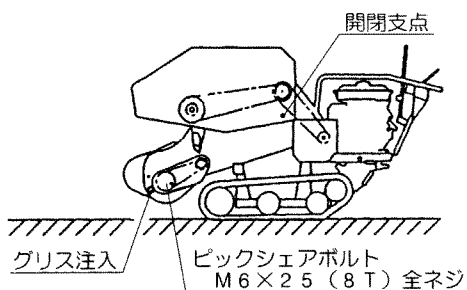
簡単な手入れと処置



警告

各チェーン、各回転部分や摩耗しゅう動部分には十部注油してください。
また、部品が摩耗したまま使い続けると、摩擦による加熱の原因となり、場合によっては火災となります。

◆各部のグリスアップ箇所



1 1. トワイン切断ナイフの交換

ナイフの切れが悪くなりましたら、交換してください。

トワインがトワインガイドからはずれ、結束ミスの原因となります。

注意

ナイフ交換は十分注意してください。

1 2. 長期格納時の手入れ

- 水洗いして付着した泥やホコリなどを落とし、巻き付いた草などを取り除いてください。
- 乾燥後は、各回転・摺動部やチェーン類には十分注油し、錆びないようにしてください。
- 塗装のはがれた部分には、補修塗料などを塗って錆が出ないようにしてください。
- 各部のボルト・ナットがゆるんでいないかを確認し、ゆるんでいる時は締めてください。
- 格納は、雨やホコリのかからない屋内の平坦な場所に保管してください。

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照ページ
●拾い上げ部に草がつまる	●集草列が大きすぎる	●集草列を小さくする	1 5
	●車速が速すぎる	●車速を落として作業する	1 6
	●作物が漏れている	●予乾をする	—
●テーパー状のベールができる	●集草列の片側を走行している	●集草列の中央を走行する	—
	●長ワラの場合は株側をサイドプレートに合わせて走行していない	●株側をサイドプレートに合わせて走行する	1 5
●ピックアップドラムが回転しない	●ピックアップのシェアボルトが切断している	●シェアボルトを交換する 01118 5060 250 (M6×25 8T 全ネジ)	1 3
●タイトバーが異常に振動する	●タイトチェーンの油切れ	●チェーンに十分注油する	2 0
	●タイトチェーンのゆるみ	●チェーンを張る	2 0
●トワイン案内金具が作動しない	●トワインが段付きプリーで滑ってしまう	●トワインテンショナーのブレーキを強くする	1 3
		●巻き数を多くする	1 1
		●繰り出しローラーの調整ボルトをゆるめる	1 3
●トワインが結束途中で切断される	●トワインが途中でつまっている	●トワインを入れ直す	1 1
	●トワインテンショナーのブレーキが強すぎる	●ブレーキを弱くする	1 3
●チャンバー内がいつぱいになってもブザーが鳴らない	●トワイン案内金具が所定の位置にない	●案内金具を所定の位置（貼付マークの位置）に置きなおす	1 2
	●梱包圧感知用リミットスイッチがこわれている	●リミットスイッチを交換する	1 2
		●コードの差し込みを確認する	—
	●ブザーが故障している	●ブザーを交換する	—

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参照ページ
● 繰り出しローラからト ワインが繰り出さない	● トワインが繰り出しローラ の所でスリップする	● 繰り出しローラの調整ボ ルトを締め込む	1 3
		● トワインテンショナーを ゆるめる	1 3
	● トワインが途中で、から んでいる	● トワインを入れ直す	1 1
● トワインがトワインガ イドからはずれる	● ナイフの刃が切れなく なっている	● ナイフの刃を交換する 交換はナイフ上の穴にボ ルトを入れ、下のボルト でナイフの当りにして取 付けてください。 ※交換の時はナイフに十分 注意してください。	2 1
● トワインがピックアップ ドラムに巻き付く	● 草のない所をトワイン を出しながら走行した	● 草のあるところを走行す る	1 6

この項にしたがって、再度点検されても直らないときには販売店にお問い合わせください。

付 表

1. 主要諸元

品	名	自走小型ロールベアラ
型	式	SE-511
機 体 寸 法	全 長	1990mm
	全 幅	960mm
	全 高	1140mm
質	量	340kg
走 行 部	走 行 方 式	エンドレスゴムクローラ
	車 速	F1-1.4km/h ・ F2-2.8km/h R -1.4km/h
	クローラ幅	200mm
エ ン ジ ン	型 式	三 菱 GB180LN-365 (特)
	定 格 出 力	3.4kw/1800min ⁻¹ (4.7ps/1800rpm)
	使 用 燃 料	無鉛ガソリン
	タンク容量	3.6ℓ
	始 動 方 式	リコイルスタータ
ベ ー ラ 部	作 業 幅	70cm
	ベール寸法	φ50×63cm
	ベール重量	10～20kg (含水率20～50%)
	トワインの種類	純正PP
作 業 速 度		1.4km/h
作 業 能 率		40～50分/10a

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

2. 主な消耗部品

部 品 名 称	部 品 コ ー ド	備 考
シェアボルト (ピックアップ部)	01118 5060 250	M6×25 8T 全ネジ
ユルミドメナット	02121 4001 060	M6
ナイフ	11661 6172 001	
マキトリヒモ	11660 7262 001	